

立秋

りっしゅう
8月7日～22日ころ

この日から秋に入るとされるが、まだまだ暑い盛りである。二十四節気は多少季節を先取りする傾向があるが、立秋はとくに違和感があるだろう。とはいえ、だんだんと夏も衰え、秋の気配が見える。これ以降は夏の名残りの残暑という。



おすすめの
観察テーマ

つる植物を観よう

つる植物のよく茂る季節である。つる植物は茎が独り立ちすることはなく、ほかの木やフェンスなどに巻きついたり寄りかかったりしてはびこる。茎を太くするエネルギーをもっぱら長く伸びることにつぎ込む。主軸であるつるは弱いしなやか。簡単には折れたり切れたりしない。この季節のアレチウリはよい観察材料である。アレチウリは茎の一部が巻きひげになっている。巻きひげの先が物を探し当てると、くるくると巻いて先端を固定し、それからばねのように巻きあげる。両端を固定して巻けば、途中で巻く方向が変わらなければならない。巻きひげには必ず巻く向きが変わる部分があるので確かめてみよう。

(岩瀬徹)

桐一葉日當りながら落ちにけり

園子

川沿いの遊歩道の手すりから
らんだアレチウリ。暑いづくし
てしまい、巻きひげは新たな巻き
つき先を探している。
2014年9月17日、千葉県市川市
ZNC



豆知
識①

アレチウリの巻きひげは、そもそも主軸(つる)の先端であつた。それが巻きひげとなり、そのつけ根にできた芽(腋芽)が代わりに伸びて主軸になる。これを後軸成長といい、くり返しながらつるが伸びていく。(異説もあるようだ)



ここに注目

アレチウリの巻きひげは巻く向きの変り目がある。



豆知
識②

アレチウリの新しい巻きひげに、指をあててみよう。しばらく待つうちに巻きついてくる。



豆知
識③

カラスノエンドウは葉の先が巻きひげになっている。複葉の一部の小葉が巻きひげに変わったものだ。

〈つる植物の巻きつき方の4タイプ〉



ヘクソカズラ

①つる自体が巻きつく
クズ、アサガオ、ヒルガオ類、ヘクソカズラなど。

②とげで引っかかる
アカネ、カナムグラ、ヤエムグラなど。つると葉柄がとげでがりがりし、これで引っかかる。



カナムグラ

③巻きひげでからみつく
アレチウリ、ヤブガラシ、ノブドウなど。



ヤブガラシ

④付着根で張り付く
ナツツタ(ツタ)、キツタ、セイヨウキツタ(アイビー)など。



ナツツタ



キツタ